

stories

広報かわねほんちょう



音戯の郷

1

2013
No.87



飛翔 2013



桜保育園お散歩で

音戯の郷にジャンボ門松お目見え

「共に明るい未来に向かって」 川根本町長 佐藤公敏

町民の皆さま、明けましておめでとうございます。
本年も皆さまにとって良き年となりますことを御祈念
申し上げます。

平成25年度予算編成にあたって

①「安全と安心のまちづくり」

住

民の皆様の命と財産を守ることは最重要課題であり、予想される巨大地震に備えて町土の強靱化を進めます。従来から国・県の整備や防災対策などのインフラ整備については、折に触れ要望に努めてきました。今後とも安全・安心の確保、利用者の便宜のため、予算獲得に努めます。

福

祉・医療の面では、高齢化・少子化が進む中、治療から保健重視に切り替え、高齢者や子どもたちに優しいまちづくりを進めてきました。「ふじのくにねっと」による遠隔診療支援システムは山間地における地域医療連携のモデルとして注目を集めており、さらに拡充を図っていきます。今後は、高齢者の介護や子育てに当たられる方々の環境の整備・改善を図り、安心して暮らしに暮らせるよう進めます。

学

校教育は、児童・生徒の減少により複式学級や中学校の部活動など課題も生じておりますので、本町の教育はどうあるべきか教育委員会を中心に検討を進めます。

②「元気で活力に満ちたまちづくり」

急

激な社会環境の変化が進み、デフレ、円高が追い打ちをかけるなか、木材価格や茶価が低迷、販売不振に陥っています。まず、政府のデフレ克服に向けた金融政策、円高是正の経済対策を求めなければなりません。

町

としては、茶業を主要産業と位置づけ、きめ細かな生産指導にあたってきましたが、流通面での対策も必要だと考え、東京圏での知名度アップを狙い、山間地茶の魅力アピールするなど販路拡大に努めました。茶縁喫茶、川根時間などにも取り組み、現在お茶を引き立たせるスイーツ開発も進めています。世界有数の磁器である中国龍泉市の青磁と川根茶の取り合わせや川根茶の薬効成分を理論的に裏付ける研究など、ブランド価値を高めるための戦略も検討しています。

林

業は、森林組合の運営支援や林業労務に従事する人材の養成のほか、路網整備や集約化などを図るとともに、林業環境が厳しい中、新たな方向としてFSCの導入、港区との連携なども進めました。基本的には建築資材として川根材が持続的・安定的に供給できる態勢が必要だと考えています。政府の森林・林業再生プランには公共建築物への木材利用がうたわ

れ、町も計画策定を進めております。

商

工業の振興については、商工会や勤労者福祉共済会への支援などのほか、プレミアムお買い物券の発行、住宅リフォームへの助成などを行ってきました。地域経済が冷え切っている中、プレミアムお買い物券、リフォーム助成を継続したいと考えています。地域における商工業者の存在は、本来の機能以外にも地域コミュニティの維持など極めて重要です。自助努力が前提ですが、持続的・安定的な経営が可能な環境づくりを進めたいと考えます。

観

光はトータル産業といわれる。昨年、寸又峡が開湯50周年を迎えました。最盛期に比べ旅館や商店は半数以下になりましたが、旅行形態も変化の中で、これを契機に新たな挑戦を始めなければなりません。現在、観光振興計画を策定中であり、この計画をもとに有識者など外部の意見も取り入れ、まずは地域で議論を起し、納得して取り組めるような合意形成を図っていきたいと考えます。観光振興のためさまざまな施策を行ってきましたが、観光利用者の先を歩まない限り、ニューウエーブを起こそうという気構えがない限り、

多様な観光ニーズに対応できません。しかし、観光やレジャー活動が人間としてホッとするひととき、我に帰る瞬間を求める営みだとするならば、川根という地域であればこそその手が打てるはずで、高速交通から低速交通へのスローダウン、川根時間を満喫していただくための仕掛けが必要となります。県では「ふじのくに美しく品格のある邑」連合を立ち上げました。単に美しいだけでなく「品格」をうたっています。ゆったりとした川根時間を楽しんでいただくためのおもてなしの作法として、かつて江戸町方の商人道、生活哲学として広がった「江戸しぐさ」ならぬ「川根しぐさ」を起こし、品格のある邑づくりを考えたらいかげんでしょうか。美しい森林や川根茶がおもてなしのツールとなることはもちろんです。南アルプス世界遺産登録推進協議会では、世界遺産への足がかりとして「エコ・パーク」への登録を目指しています。S&Tとアプト式鉄道は、乗り物としてだけでなく、観光資源として今やなくてはならない存在となっています。大井川鐵道(株)との連携強化は欠かせません。

い ずれにしても、地域産業が元気を取り戻し、雇用を生み出すことが町の元気につながります

ので、少しでも投資意欲を引き出せるような環境づくりを目指します。

③住民が夢を持って明るく前向きに取り組めるまちづくり

地 方自治体は「住民の福祉の増進」を目指すことを基本としているので、住民が積極的にまちづくりに参画することは当然であり、そのための場を創っていかなければなりません。近年、全国の市町村で地域住民との協働(パートナーシップ)を掲げ、住民への対応や住民との関係の見直しを進めています。見直しのポイントは、「住民の目線」と「住民との協働」です。住民の意向やニーズを把握し、敏感で迅速な反応・対応を心がけるとともに、政策立案や事業執行とチェックなど、自治体運営のさまざまな局面に住民の実質的な参加を求めるようになりました。

本 町においても、住民の皆様に情報を共有していただくためさまざまな機会をとらえて情報公開を行うとともに、住民の皆様の意向を伺うため委員会への住民参加、意向調査、パブリックコメント、説明会などを行ってきました。地方主権時代にあつては、事業実施過程に住民の参画を求め、住民の「自助」を促す仕組みが必要となり

ます。住民の自助を促すには、自治体と住民は単に情報を「共有」する関係から、「共感」し合える関係にまで高めていかなければなりません。

まちづくりへの参画を

住 民が企画から準備、そして運営、結果の検証に至るまで協力し合つて一つのことを成し遂げる、その過程では、「住民が主体的に参画する」↓「相互に触れ合う」↓「手間暇かけて合意形成を図る」↓「企画をまとめる」↓「汗を流し苦労して準備する」↓「成功へと結びつける」↓「終了後には反省会を開き次回につなげる」という流れをつくるのが大切です。苦労すればするほど達成感は大きくなります。限られた時間と予算という

制約の中では困難もありますが、マンネリ化を防ぎながら永續させるためには大切なポイントとなります。まずは輪に入ること。そして誰もが入りやすい輪にしていかなければなりません。



本年もこの3つの柱を重点目標として取り組んでまいります。共に明るい本町の未来を築いてまいりましょう。



堀早千慧

第4区 3.549km



山中裕斗

第5区 6.061km



山下富士夫

第6区 4.34km



走



表彰式終了後選手全員でガッツポーズ

敢闘賞受賞！



左から瀧尾実行委員長、町長、山本監督、教育長



宮島大樹

第7区 3.76km



鈴木龍弥

第10区 4.31km



石川愛理

第9区 4.67km



植村佳織

第8区 3.02km



前川裕音

第1区 3.974km



小西健斗

第2区 1.848km



小西藍

第3区 1.469km

12月1日、県庁前から草薙競技場までの42.195*₀で第13回しずおか市町対抗駅伝競走大会が行われました。第1区走者の前川裕音さんが新調したポロシャツに思いを込めた「貫走」の2文字。見事、町の看板を背負い本町歴代最速タイムで走りきり、敢闘賞を受賞しました。町民の皆さまの沿道やテレビの前からの声援が選手を勇気づけ、力を奮い立たせる原動力となりました。ご声援ありがとうございました。そして、選手の皆さま感動をありがとうございました。

HighLight
今月の注目 **2**



貫

【結果】(区間タイムと順位)

町の部(12チーム)10位	2・32・02	7区	宮島大樹	12:36	⑧
1区	前川裕音 15:12	⑨	8区	植村佳織	12:47
2区	小西健斗 7:00	⑫	9区	石川愛理	18:01
3区	小西藍 5:26	⑫	10区	鈴木龍弥	14:32
4区	堀早千慧 14:27	⑫	11区	大窪健太	17:43
5区	山中裕斗 19:29	⑥	1500m	松崎巧汰	5分16秒25
6区	山下富士夫 14:49	⑦	1500m	藺田菜良	6分00秒73

(撮影協力) 富士宮市・吉田町・掛川市・御前崎市・菊川市・藤枝市・牧之原市・南伊豆町・島田市・小山町



藺田菜良

「もうひとつのタスキ」
小学生1500m



松崎巧汰



大窪健太

第11区 5.194km

こんにちは
おおむらあすみ
大村朱澄
です!

vol. 3



▲接岨湖で練習する⑥朱澄選手と⑤兄の真澄さん

しかし、五輪出場という一つのステップに上がった事にとっても誇りを感じています。幼い頃に思い描き、小学校の文章に綴った夢。多くのアスリートが夢見て、目指して戦う舞台に私も踏み入れ、経験出来た事は本当に貴重な体験で感謝していききたいと感じています。

今回の貴重な経験を、今後の力又一人生に目いっぱいつなげていこうと、先を見据えております。4年に一度はいったん幕を閉じましたが、それは同時に次のスタートを告げているのです。

また、私には今回、シングルとペアの2種目の出場権がありました。が、レース日程の関係で一本に絞る選択が迫られていました。私は自らの意志で、現時点で世界と戦える見込みの高いペアを希望しました。両方の出場が叶わずガッカリさせてしまった点もあるかもしれませんが、オリンピックピックという特別な舞台で、三大会連続出場を果たした経験と実績のある先輩の背中を見ながら、後ろから共に戦えた事が何よりも今後の私に一番の財産となると思いますし、本当に誇りに思っています。

今回のロンドンオリンピックピックを経験させてもらって、自分の甘さを知った反面、自分に秘めている可能性も見い出せそうな気もしています。同じ人間なのだから出来ない事はない。と言葉をいただきました。条件は異なっていますが、どう穴埋めするかで変われる。今の私はブラジル・リオに一直線です。でも今は再びスタートラインに立った所で、まずは三年後の出場権争いが勝負となります。今

回味无穷の想い、経験を存分に生かしてこれからカヌーと歩んでいきます。

アジア大会からこの二年本町の皆さまに支えられながらカヌー競技を続けていくことが出来たと感じています。大変なご尽力を注いでくださった多くの関係各位の方々のおかげで、後援会も立ち上げていただき、多くの期待や励ましの言葉をいただきました。もともと川根本町の笑顔や喜びの種となれたらいいなと思っていました。オリンピック前には盛大な壮行会を開催していただき、改めて町民の皆さまの温もりとパワーを感じました。試合中には、多くの方が気にかけて注目してくださり、応援の声を上げてくださった事と、皆さまの優しさに本当に感謝の思いでいっぱいです。たくさんの方の応援をくださり、本当にありがとうございました。

【つづく】



◀南アルプスあぶとライン・長島ダム駅前
駐車場にある朱澄選手のメッセージ板

HighLight

今月の
注目

3

(撮影協力) 牧之原市、吉田町

きびきびと行動し、操法の正確さ、節度、敏捷性、タイムなどを競いました

榛原支部消防操法大会を開催 ポンプ操法の技術を競う

11月18日、牧之原市静波グラウンドで県消防協会榛原支部消防操法大会が行われ本町消防団第1分団がポンプ車操法、第8分団が小型ポンプ操法に出場した。本町・牧之原市・吉田町から6隊が出場し、日ごろの訓練の成果を競い合った。ポンプ車操法の部は牧之原市が、小型ポンプ操法の部は吉田町が優勝した。

ポンプ車



第1分団出場隊員

- 指揮者・芦澤 文利
- 1番員・金澤 毅
- 2番員・大森 敬久
- 3番員・石切山泰文
- 4番員・坂井 紀彦
- 補助員・花島 正彦



小型ポンプ

第8分団出場隊員

- 指揮者・横畑 和哉
- 1番員・栗原 悠
- 2番員・西原伊佐人
- 3番員・前田 猛紀
- 補助員・各務 翔太



HighLight
今月の
注目
4

新しい地域医療のかたち「バーチャル・ホスピタル(仮想の総合病院)」という考え

明日への地域医療 いやしの里診療所の取り組み

本町唯一の公設公営診療所であるいやしの里診療所。「ふじのくにねっと」による遠隔診療の導入は総合病院を持たない町民の不安解消と、近隣の総合病院に通院する負担解消、専門診療を受けることで得られる安心感により「地域にいながらにして専門医の診療を受けることができる」と同診療所の取り組みが患者さんに安心感を与えている。本町特有の過疎地域医療の課題に対する“遠隔診療”という新たな取り組みを紹介する。

- ▶生活健康課・住民生活室
☎0547(58)7070
- ▶いやしの里診療所(小長井)
☎0547(59)2102

第1章

▼地域医療の現状と目指す姿

いやしの里診療所は平成19年10月、それまで開業されて長年にわたり地域医療に貢献された大石医院を引き継ぐ形で「いやしの里診療所」に改名し公設公営の診療所として診療を開始しました。

平成22年12月に3年余りお勤めいただいた管理者が都合により退職されたため、平成23年1月から島田市川根町・高木医院の故高木利昌先生に暫定的に管理者をお勤めいただき、島田市民病院、静岡県立総合病院から医師の派遣を受けて、週3回の診療を継続してきました。平成23年8月に高木先生の急逝により一時休診となりましたが、平成23年11月17日、県立総合病院の全面的なご協力により、同病院医療連携管理監の清水史郎先生に管理者をお勤めいただき診療を再開しました。

現在は毎週水曜日16時から18時、木、金曜日は9時から17時、土曜日は9時から12時まで診療をおこなっております。

医師不在の状況をつくらない

地域医療の現状として医師不足が挙げられます。いやしの里診療所も冒頭で述べたとおり常勤の医師を管理者として確保できない状況にあり

ます。

これは、医師の絶対数の不足や地域医療の重要性とは裏腹に地域に勤務する医師数が年々減少し、逆に大都市に集中する医師の偏在に原因があります。

つまり、本町のような山間部の小さな町で医療体制を維持することは非常に難しい現状です。

幸いにも本町にはいやしの里診療所を含む5つの医療機関があり、それぞれの医療機関で毎日先生方が献身的に地域の医療に当たられています。なお医療資源の不足は否めません。

いやしの里診療所においても町内唯一の公設公営診療所として医師の確保のため、専門誌への募集広告掲載など継続して行っていますが、常勤医師の確保にいたっておりません。今後医師のいない状態を作らない、つまり地域の医療が切れ目なく継続でき、安定した医療サービスの提供ができる環境作りを目指し、先生方一人一人の努力に甘えるのではなく、近隣市町も取り込んだ医療圏で本町の医療を支えていただける方法を確立する必要があります。

だれもが健やかに暮らせる地域医療の推進を目指して

川根本町は総合計画の中に保健医療分野として『ぬくもりとふれあひ

だれもが健やかに暮らせるふるさとづくり』を掲げています。

基本目標を「地域の医療機関が相互に連携しながら、生活習慣病やストレス疾患などの予防や早期治療、重症化の防止など、すべての町民が健康で長生きすることができるように、地域医療の充実を図る」としています。

この地域の医療機関の相互連携、地域医療の充実を目的として、いやしの里診療所では大きな2本の柱で地域医療の充実を図る取り組みを開始しました。

第2章

▼地域の医療を支える

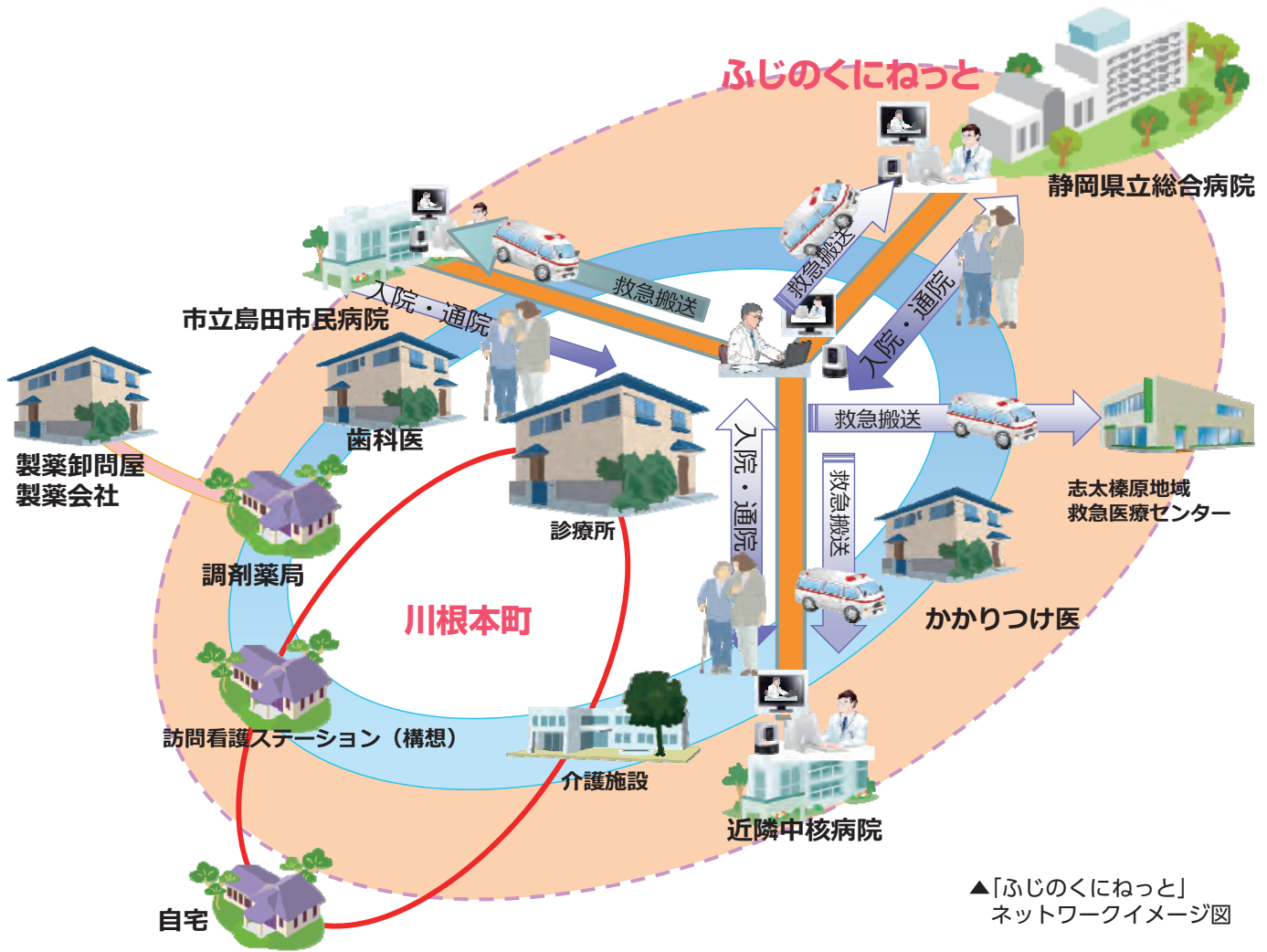
大きな2つの「柱」

①医療ネットワーク

「ふじのくにねっと」への加入

「ふじのくにねっと」は、静岡県立総合病院を中心とした県内医療機関が構成する「ふじのくにバーチャル・メガ・ホスピタル協議会」が運営する地域医療ネットワークシステムです。地域の医療機関の診療情報(カルテ、レントゲン画像等)を相互に閲覧でき、患者情報をネットワーク上で共有することが可能です。

診療所で診察を受け、近隣の総合病院へかかる場合など、診療所でレ



▲「ふじのくにねっと」ネットワークイメージ図

ントゲン撮影などをして、紹介先の総合病院で再度レントゲン撮影をするなどの時間を省くことができ、患者さんの通院時間の短縮や経済的負担の軽減が可能です。

また、一人の患者さんに対し診療所、総合病院の医師が相互に診療履歴などを元に治療方法を考えることができ、今まで一人の医師にかかっていた負担を何人かで分担することが可能です。地域医療の最前線の医師には精神的負担の軽減が見込まれます。

さらに急病に見舞われ救急搬送される際にも、総合病院到着時まで過去の診療履歴を参照できることで、既往症の有無、投薬の状況など急病の原因となる内容の確認などが受入れ時までに行えることから、到着後遅滞なく救急対応を受けられるなどのメリットもあります。

いやしの里診療所は町内他の医療機関に先駆け、電子カルテを整備し、診療所における診療情報を開示し、他の医療機関から情報を閲覧してもらえる「開示施設」として昨年9月1日から取り組みを開始しました。現在は静岡県立総合病院への開示・閲覧を中心に活用しておりますが、来年度以降島田市立島田市民病院も開示施設になる予定であり、島田市民病院との連携がさらに充実することが予想されます。

昨年10月には町内調剤薬局も参照機関としてネットワークに参画して、診療情報をもとに、より充実した服薬指導ができる環境となりました。

川根本町内の医療機関についても一部「ふじのくにねっと」に参画しており、将来の情報開示に向け整備を推進していく予定です。これが実現しますと町内医療機関はネットワークでつながり、どこの医療機関で受診してもこれまでの診療履歴をもとにし、あたかもかかりつけ医院のように受診いただくことが可能な環境になります。

② 専門科目の遠隔診療支援

双方方向の映像、音声で、遠距離2点間のコミュニケーションを図ることが可能な「ビデオ会議システム」を静岡県立総合病院、いやしの里診療所に整備し、このシステムを活用した専門科目の遠隔診療支援を4月から取り組んでおります。

これは、情報通信技術を駆使し、質の高い充実した医療サービスの提供を目的としたものです。診療所で疾患として多い循環器の診療を毎週木曜日の午後、腰痛など整形外科の診療を毎月第4金曜日に県立総合病院にいる専門科医がビデオ会議システムを使って診療しています。

遠隔診療支援に該当される患者さんは、慢性期で症状の安定した患者

さんに限られます。つまり急な胸痛、腹痛などで診療所にかかる方には対応できません。

診療の方法は診察1週間前に、血液検査など必要な検査を受けその情報を診察に先立ち総合病院の専門医に「ふじのくにねっと」で送ります。

その情報を確認、分析し診療当日は映像・音声を介し診察し、治療するものです。循環器の場合、一般に生活習慣病と称される疾患が多く、問診、検査から現在の体の様子などを確認し、生活習慣改善に向けた専門医からの指導を受けることができます。

今までは定期的に1日をかけて総合病院までの通院を余儀なくされていた患者さんが、自宅から近い診療所で総合病院での受診と遜色ない医療をお受けいただけるようになります。

この大きな2つの柱が機能を発揮すると川根本町の中に一つの「バーチャル・ホスピタル(仮想の総合病院)」が完成します。

総合病院を持たない本町の医療は典型的な中山間の過疎地域における医療の現状を反映したものです。ここに最先端の情報通信技術を駆使することで、条件・制約はつきませんが仮想空間に大きな総合病院が確立され、提供可能な医療サービスも今までのものに比べ更に充実することになります。



▲いやしの里診療所での遠隔診療支援の様子
清水所長が立ち会い、看護師がサポートしてビデオ会議システムを通じて診察を行っています。



▲県立総合病院での遠隔診療の様子
循環器科の島田先生がビデオ会議システムを通じて届いた情報を確認・分析し、診療しています。

第3章

▼都市部と変わらない

医療サービスを目指す取り組み

住み慣れた土地で、健康で何の不安もなく穏やかに暮らすことは誰もがの願いです。先進技術を駆使し、都市部で受ける医療と遜色ない医療サービスを享受することが出来る…一見なんでもないことに思えることですが、現状実現するには困難を極めるものです。

インターネットやビデオ会議システム、電子カルテをもちいて複数の医師が診療所運営にかかわり、相互に助け合える体制を構築していくことが医療の継続に繋がります。

この地域の医療の継続のため、これまで築いたしくみを最大限に活用し、若い医師にも来て頂ける体制づくりがこの町の最大の課題です。住んでいる方々が明るく元気に暮らしていただけるよう町内でご活躍いただく先生方に感謝をしながら、今後は先生方、町民である私たちの両方に優しい医療サービス提供の仕組みづくりが必要であり、その実現に向けた努力が今後必要になってくると思います。

いやしの里診療所で取り組む内容はそのほんの一翼を担うものですが、一つ一つが重なり合いより住みよい、暮らしやすい川根本町を目指していきたいと考えています。

Voice



清水史郎
先生の声

川根本町の皆さん、診療所長の清水です。いやしの里診療所には大変な時期がございました。医師不足がこれほど直撃した施設はそうないと思います。診療体制は1週間をすべてカバーすることができない状態が続き、充分とはいえませんでした。しかし、ここ一年間職員は診療所の継続のため大変努力してまいりました。今、最新の情報技術の導入と周辺医療機関とつなぐ静岡県立総合病院と島田市民病院の多大なご協力ならびに町の努力により安定した運営ができる状況が見えてまいりました。これから更に、町内の医療機関、調剤薬局、介護施設等と力をあわせ、情報技術を活用して医療提供体制の確保に努力をしたいと思っています。現在、循環器科と整形外科の遠隔診療はほぼ安定した稼働ができております。今後は他の診療科のご協力も依頼し、診療科数を増やしていく所存です。遠隔診療ではありませんが、地域と密な連携を保ちながらの遠隔診療は診療科が増加すれば病院機能に近い状態をつくりだせるものと信じています。川根本町にバーチャル・ホスピタルというのが職員の夢となっております。ぜひ安心して受診ください。



多くの来場者が深まる秋を楽しんだ

HighLight
今月の
注目 **5**

奥大井の“紅葉”“味覚”“触れ合い”を満喫

「紅葉を空から」奥大井 ふるさと祭り開催



奥大井ふるさと祭りが11月10日、町内外から約2千人の来場者が訪れ、音戯の郷前特設会場で開催された。紅葉を満喫したヘリコプター遊覧のほか、会場には多くの模擬店が並び、ステージイベントなどを楽しむ来場者でにぎわった。

多彩なプログラムや特産品販売
奥大井ふるさと祭り(同実行委員会主催)が開催され、千頭駅前河原特設ヘリポートから紅葉真っ盛りの寸又溪谷上空までを飛んだヘリコプター遊覧や39店の模擬店が軒を連ねて、ヤマメの塩焼きや自然薯、ゆずなどの特産品販売などが行われました。特設ステージでは、赤石太鼓保存会による和太鼓演奏やバンド演奏、ヴァイオリンとピアノ演奏を楽しく融合させた「ステージ」のパフォーマンスで来場者を楽しませました。

手揉み保存会による茶揉みや餅つき、流木工作、ツル編みなどの来場者が参加して楽しめる体験型プログラムも家族連れらに好評でした。



アルルとプルル



▷会場で人気だったアルルとプルル(南アルプスあぶとラインのマスコットキャラクター)も来場者をお出迎えました

やまびこ車のコース

問文化会館 (59) 3106



Aコース	着	地名集会所	西地名	塩郷	下泉駅	下泉原	農協茶工場	南部小学校	高郷住宅		
	発	9:15	9:40	10:10	10:30	10:50	11:15	13:15	13:45		
Bコース	着	尾呂久保	田野口駅	上長尾集会所	八中集会所	中央小	高郷NTT	三共生コン			
	発	9:20	10:00	10:30	11:10	13:05	13:30	13:45			
Cコース	着	瀬平集会所	三津間集会所	久野脇集会所	平谷	下長尾集会所	梅高	原山	久保尾	向井上	向井
	発	9:15	9:40	10:10	10:40	10:55	11:15	13:30	13:55	14:25	14:45
Dコース	着	水川	田代	上岸集会所	総合支所	町文化会館	本川根小	徳山防災センター	正島		
	発	9:15	10:00	10:35	11:05	11:25	13:10	14:00	14:25		
Eコース	着	桑野山	寸又峡上駐車場	寸又峡公民館	やまびこ資料館	奥泉集会所	小井平				
	発	9:30	10:30	10:55	13:00	13:40	14:25				
Fコース	着	藤川西平	藤川保育園	藤川区事務所	崎平集会所	青部集会所	第一小	文澤	壱町河内	小竹	
	発	9:15	9:35	10:00	10:30	10:55	13:05	13:50	14:10	14:30	

日・曜	町の予定(健康・子育て支援など) ※()は受付時間	休日当番医	各施設の予定	やまびこ車コース	家族の予定
16水	ことばの相談(予約制) 山村開発センター 9:30~11:30 小児科医健康相談(予約制) 創造と生きがいの湯 14:00~16:00			F	
17木					
18金	定例健康相談 山村開発センター 9:30~10:30 竹の子会 町外 9:45~14:00			A	
19土			◆B & G 海洋セ: 夜休館		
20日		鈴木内科医院 川根本町徳山826-1 0547-58-3100	◆B & G 海洋セ: 休館 ◆文化会館: 休館		
21月	ふれあいママ教室 生活改善センター 10:00~12:00		◆B & G 海洋セ: 休館 ◆文化会館: 休館	B	
22火	三種混合(DPT)予防接種 文化会館 (13:30~14:00)				
23水	定例乳幼児相談 山村開発センター 9:30~11:00 おじさんキッチン 文化会館 10:00~12:00			C	
24木	あそびの教室 山村開発センター 9:30~11:30				
25金	定例健康相談 創造と生きがいの湯 9:30~11:00 地区巡回健康相談 大谷地区集会所 13:30~14:30			D	
26土			◆B & G 海洋セ: 夜休館		
27日		すぎもと耳鼻咽喉科クリニック 島田市金谷東1-931 0547-47-3387	◆B & G 海洋セ: 夜休館		
28月			◆B & G 海洋セ: 休館 ◆文化会館: 休館	E	
29火	子宮頸がん・乳がん検診 山村開発センター (9:15~11:00) (13:00~13:30)				
30水	2歳・2歳6カ月児歯科検診 文化会館 (12:50~13:15)			F	
31木					

健康カレンダー・休日当番医・施設の予定などは、予告なく変更する場合があります。確認のうえお出かけください。町議会の傍聴等のお問い合わせは議会事務局 ☎(56)2229 まで。

くらしの カレンダー

1月 2013

役場本庁

【代表電話番号】 ☎56-1111

1F 税務課 ☎56-2223
福祉課 ☎56-2224
地域包括支援センター ☎56-2225
生活健康課 ☎56-2222
建設課 ☎56-2227
出納室 ☎56-2228

2F 総務課 ☎56-2220
企画課 ☎56-2221
産業課 ☎56-2226

3F 議会事務局 ☎56-2229

総合支所ほか

【代表電話番号】 ☎59-3111

1F 商工観光課 ☎58-7077
管理室 ☎58-7073
住民生活室 ☎58-7070
福祉介護室 ☎58-7071
産業建設室 ☎58-7076
教育総務課 ☎58-2555
生涯学習課 ☎58-7080

文化会館 ☎59-3106
本川根B&G海洋センター ☎59-3332
山村開発センター ☎56-2231

各種相談・お知らせ

社会福祉協議会「よろず相談」
1月9日(水) 9:00~11:30 文化会館

社会福祉協議会「よろず行政相談」
1月16日(水) 9:00~11:30 生活改善センター
【問】社会福祉協議会本川根事務所 ☎(59)2315
社会福祉協議会中川根事務所 ☎(56)1872

行政相談
1月16日(水) 9:00~11:30 生活改善センター
【問】総務課 ☎(56)2220

精神保健福祉総合相談(精神保健、断酒など)
1月23日(水) 中部健康福祉センター(藤枝市)13:15受付(断酒会)
※要予約 中部健康福祉センター障害福祉課 ☎054(644)9279

日・曜	町の予定(健康・子育て支援など)※()は受付時間	休日当番医	各施設の予定	やまびこコース	家族の予定
1 火		織田医院 島田市金谷上十五軒1997 0547-45-3042	◆B & G海洋セ: 休館 ◆文化会館: 休館		元日
2 水	親子登園日 さゆり幼稚園	林医院 島田市川根町家山544-1 0547-53-2352	◆B & G海洋セ: 休館 ◆文化会館: 休館		
3 木		かなや眼科 島田市金谷扇町3639 0547-45-0010	◆B & G海洋セ: 休館 ◆文化会館: 休館		
4 金	志太榛原地域救急医療センター(内科・小児科) 1月の診療		◆B & G海洋セ: 休館 ◆文化会館: 休館		
5 土	診療時間 月曜~木曜日 午後7時30分~10時 金曜~日曜日 午後7時30分~翌日午前7時 ※ただし1月4日(金)、5日(土)、6日(日)、11日(金)、12日(土)、13日(日)、18日(金)、19日(土)、20日(日)、25日(金)、26日(土)、27日(日)の午後10時から翌日午前7時は小児科のみの診療です ☎054(644)0099		◆B & G海洋セ: 夜休館		
6 日		さくらい整形外科 島田市金谷根岸町140-15 0547-47-1500	◆B & G海洋セ: 夜休館		
7 月			◆B & G海洋セ: 休館 ◆文化会館: 休館	C	
8 火	不活化ポリオ予防接種 山村開発センター (13:30~14:00)				
9 水	定例乳幼児相談 創造と生きがいの湯 9:30~11:00			D	
10 木	あそびの教室 創造と生きがいの湯 9:30~11:30				
11 金	定例健康相談 千頭東区会館 9:30~11:00 地区巡回健康相談 田代地区集会所 13:30~14:30			E	
12 土			◆B & G海洋セ: 夜休館		
13 日		大下医院 川根本町下長尾219-1 0547-56-0019	◆B & G海洋セ: 夜休館		
14 月		森本外科医院 島田市金谷上十五軒1987 0547-46-1181	◆B & G海洋セ: 夜休館		成人の日
15 火	三種混合(DPT)予防接種 山村開発センター (13:30~14:00)		◆B & G海洋セ: 休館 ◆文化会館: 休館		

休日当番医はこちらのホームページでご確認ください。 子育て支援施設 ☎(57)2231 休館日: 日、月、祝日
(社)榛原郡医師会HP <http://www.haibara-med.or.jp/>

表彰を受けられた皆さんを紹介します

社会教育活動を推進、多年にわたり社会教育の振興に貢献

高村昌明さんが文部科学大臣賞を受賞されました

11月13日、文部科学省講堂で高村昌明さん(高郷=76歳)が、文部科学大臣賞(平成24年度社会教育功労者表彰)を受賞されました。

平成14年4月から平成23年3月まで、9年間社会教育委員を務められ、委員長として中心的役割を果たすとともに、生涯学習活動に尽力されました。特に合併後、地域で取り組む生涯学習をテーマに、世代間の交流を伴う伝統文化の継承など、地域性を生かした取り



組みに寄与された功績により表彰されました。受賞おめでとうございます。

▲㊦佐藤町長、㊦高村さん、㊦杉山教育長

教育委員会・生涯学習課 ☎(58)7080

卓越した見識により静岡県の森林・林業の発展に貢献した功績

杉山嘉英さんが農林水産大臣賞を受賞されました

11月11日、全国育樹祭式典がエコパアリーナ(袋井市)で開催され、皇太子さまが出席されました。式典では功労者表彰が行われ、前町長の杉山嘉英さん(壺町河内=57歳)が、農林水産大臣賞(平成24年度全国育樹活動コンクール・個人の部)を受賞されました。

培った林業技術や情報を地域に還元すべきとの考えから、早くから林業研究会等の活動を通じて、地域の育樹活動の普及に大きく貢献・尽力された功績により表彰されました。



受賞おめでとうございます。

▲皇太子さまが出席される中、受賞された杉山さん㊦

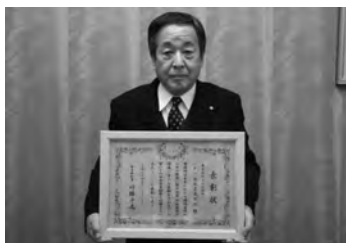
産業課・林業室 ☎(56)2226

地域の環境保全に寄与した功績で環境保全功労

第36回全国育樹祭静岡県森づくり功労者表彰(知事褒賞)を受賞

11月11日、全国育樹祭式典にて第36回全国育樹祭静岡県森づくり功労者表彰「森を活かす人部門」でF-n-e-t大井川(管理責任者・川根本町長)が知事褒賞を受賞しました。

F-n-e-t大井川は、平成20年3月に県内で初めてFSC®森林認証を取得しました(現在1,466㊦)。その後の普及啓発活動を通じて、本県の認証森林の拡大に先導的な役割を



果たしてきた功績が認められました。

今後も精力的に適切で責任ある森林管理に努めていきます。

▲木製の表彰状を持つ佐藤町長

産業課・林業室 ☎(56)2226

地域の環境保全に寄与した功績で環境保全功労

高田晴男さんが静岡県知事表彰を受賞されました

11月3日の文化の日、静岡県の発展のために、貢献された41人9団体の皆さんが、静岡県庁で川勝県知事から表彰されました。

高田晴男さん(藤川=74歳)は、自然公園指導員としての奥大井県立自然公園の巡視や公園利用者への指導による地域の環境保全への功績が認められ、環境保全功労として表彰されました。



高田さんは、現在も指導員として活躍されています。受賞おめでとうございます。

▲高田さん㊦と川勝県知事㊦(県庁本館玄関で)

総務課・行政室 ☎(56)2220



かんとう みき
神東 美希さん
エコツーリズム推進事業の地域コーディネーター。昨年度は5代目「緑のふるさと協力隊」として活躍。現本町まちづくり観光協会勤務。愛媛県出身。

地域コーディネーター神東美希の

エコツアー日記

川根本町の魅力をPRする
エコツーリズムネットワーク活動報告

問い合わせ 本町まちづくり観光協会内 かんとう みき 神東美希 ☎ (59) 2746

2012年5月からエコツアー事務局を担当している私ですが、12月までで30近くの主催プログラムを行いました。トレッキング、カヌー、ものづくり、農業体験など、様々なジャンルのプログラムがありますが、これを企画しているのは私ではなく、エコツアーの会員です。会員さん自らがやりたい企画を考え、それを月に一度の運営会議にかけます。実施が決まれば、情報発信したり必要な手配をしたり…そこからが私の仕事なのです。

地元をよく知る会員さんのアイデアや意欲にはいつも感心してしまいます。「少しでも川根本町を盛り上げたい」という気持ちがガンガン伝わってきます。今、「エコツアーが熱い!」のです。そんな会員さんたちと一緒に活動できる

ことが嬉しくて仕方ありません。
プログラムを企画する時に一番頭を悩ませるのが料金設定。実は今年度に入り、参加費一部上げました。「料金を上げるとお客様が来なくなるのでは?」という声もありましたが、それは杞憂でした。トレッキングに参加したお客様が「参加前は料金が高いと感じたが、ガイドの説明、お弁当のおいしさ、自然の美しさを見ると安いくらいだ」と感想を述べてくださったのです。安ければ良いというわけではなく、参加費に見合うようにプログラム内容を充実させれば、きっとお客様は満足して下さるのだと確信しました。

参加費の中には当然、スタッフ報酬も含まれています。事務局を預かる身としては、スタッフを

ただ働きさせるわけにはいきません!町内外にしっかり広報をして、一つひとつのプログラムを採算の取れるものにしていくことも私の役目です。大きな収益は無理でも、地域内で人とお金を少しでも回していくことこそが、エコツーリズムをこの町に根づかせるための必須条件ではないでしょうか。

というわけで、2013年も地域の皆さんと一緒に、エコツーリズムで川根本町を盛り上げていきますので、よろしく願います!



①紅葉満喫カヤックツーリングにて。湖面から見る紅葉に大満足!

「川根のみきてい」が綴る「ブログ版 川根本町エコツアー日記」もお楽しみに! <http://eco2kawane.eshizuoka.jp/>

CO₂を出さないクリーンなエネルギーとして注目!

クリーンエネルギー機器導入促進事業

設置する方

太陽光発電は、少し前までは高価であったため興味があってもなかなか手を出しづらいものでした。しかし、最近の技術革新などによって価格も低下し、国・県・町による補助金も充実したことで、今では太陽光発電システムを屋根にのせているご家庭を多く目にするようになりました。さらに、平成24年7月から施行された「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」により太陽光発電の売電価格は10年間固定で1KW(キロワット)42円と設定されたことで、ますます増えていくものとされています。

【対象機種・補助金額】

▼太陽光発電(国・県の補助制度あり)
1KW(キロワット)当たり5万円・上限20万円

▼太陽熱温水器(県の補助制度あり)
設置費用1/2以内・上限5万円

▼ヒートポンプ型給湯器

設置費用1/2以内・上限5万円

▼潜熱回収型給湯器及びガスエンジン給湯器

設置費用1/2以内・上限3万円

※機器ごとに補助の条件があります。

【対象者】

町内の自ら居住する住宅用建物に補助対象となる設備を

い。本町では、クリーンエネルギーの利用促進、地球温暖化の防止及び資源の有効利用を図ることを目的とした補助制度があります。設置を検討される場合は是非ご利用ください。

【平成21年度から24年度までの実績(11.30現在)】	
▷太陽光発電	98件
▷太陽熱温水器	68件
▷ヒートポンプ型給湯器	263件
▷潜熱回収型給湯器及びガスエンジン給湯器	16件

企画課・環境室 ☎(56)2221

至福の時間がゆったりと流れた日

11/23

至高の川根茶をゆったりとした時間の中で楽しんだ「川根時間」

千葉山智満寺(上長尾)で、町内の茶業関係者で構成する川根茶秋期イベント実行委員会は、第2回川根時間を開催しました。

約300人の来場者は、境内を彩る紅葉を楽しみながら、全国品評会で上位入賞したお茶を飲んだり、茶農家から直接おもてなしを受け、ゆったりとくつろぎながら川根茶を堪能しました。

茶歌舞伎(闘茶会)や茶菓子販売のほか、新たに「川根セミナー」と題した講演と町品評会出品茶のオークションゲームを開催し、来場者アンケートからも好評の声を多数いただきました。



生産者と消費者をつなぐ川根茶談義も好評でした

11/17

町長も舞った「第9回夜っぴとい神楽」



梅津神楽「八王子の舞」◎佐藤町長

駿河神楽6団体が22演目の舞を夜遅くにつけ披露

徳山コミュニティ防災センター屋外特設会場で、徳山古典芸能保存会は、第9回夜っぴとい神楽を開催しました。安倍川・大井川流域で継承されている神楽団体は駿河神楽と呼ばれており、6団体が一堂に会し22演目を披露しました。

出演したのは徳山古典芸能保存会と梅津・清沢・横沢・笹間・滝沢八坂神社の各神楽保存会。

会場には約300人の神楽ファンが集まり、各地域で継承され特色ある演目を楽しみました。主催者である徳山古典芸能保存会が火の舞を披露すると大きな歓声が上がっていました。

南部小児童が干し柿作りに挑戦

11/20

包丁さばきに手こずる児童もいる中、皮むきから体験しました

中川根南部小の6年生12人が、家庭科授業の一環として干し柿作りに取り組みました。

地域にある身近な柿を用いて、児童に包丁の使い方・皮むき体験と伝統の保存食に理解を深めてもらおうと企画しました。

職員の自宅に実った柿を使い、包丁さばきに手こずる児童もいる中、慎重に皮をむき、へたにビニールひもを結んでベランダの物干しざおに吊しました。勝山明日香さんが「秋の日に柿のカーテン きれいだな」と即興で一句詠み、教室を沸かせていました。



天日にさらして甘くなる干し柿を食べるのが楽しみです

本小児童が大井川に理解を深める

11/29

本小4・5年生が総合学習で奥泉発電所・長島ダム・資料館やまびこへ

本川根小学校の4・5年生21人が総合学習の一環として、大井川について学習するため、関係が深い町内3施設を訪問しました。

奥泉発電所では水力発電の役割と仕組みを、長島ダムでは多目的ダムとしての洪水調整や利水について、資料館やまびこでは川と共に暮らしてきた先人たちの知恵や生活様式などを職員から説明を受け、大井川について理解を深めました。長島ダムでは堤体内を見学し、外から見るダムの大きさと内部の広さに驚き、事前に勉強したことなどを職員に質問していました。



長島ダム白井さんから説明を受ける児童

12/2

町内全地区で地域防災訓練を実施

大規模地震発災時に自ら取るべき行動を地区ごとに確認



AED訓練キットを使って災害時の備えを確認しました

地域防災の日に、町内全地区の自主防災会・消防団と役場職員などが参加して、地区ごとに「震度6弱の突発型地震が発生」と想定した訓練が行われました。地区で設定した訓練計画に基づき、避難・通報・消火・炊き出しなどの各訓練のほか、防災資機材の確認、一部でAED講習も行われ、発災時に取るべき行動を確認しました。

また、県が行った緊急速報メール訓練の受信の可否も確認しました。文化会館ではAED講習が行われ、派遣された役場指導員から人工呼吸の方法などを習得、確認していました。

議会改革の一環として報告会開催

11/21・11/22

町議会は開かれた議会を目指し、議員視察研修報告会を2日間開催

文化会館と山村開発センターの2会場で、議員視察研修報告会を議員主導で行いました。

報告会の内容は、10月2日から3日間の日程で実施した福島県いわき市と会津若松市の視察研修。東日本大震災の被害状況と現状(いわき市小名浜港)、バイオマス発電を活用した企業視察(いわき大王製紙株)、議会基本条例の制定経緯と運用実態について(会津若松市議会)、木質バイオマス発電を行っている発電会社の視察(株)グリーン発電会津)など主に4つの視察研修内容が報告されました。



プロジェクターを使い、分かりやすい報告がありました

大 駱駝艦(だいらくだかん)田村一行 舞台公演「はざま」のご案内

平成25年1月27日(日)午後2時より、
 文化会館ホールにおいて、舞台公演
 「はざま」を開催します。

世界で活躍する舞踏手、田村一行氏が川
 根本町にやってきます。静岡県初公
 演です。田村氏による「舞踏」を間近で見
 てみませんか？

入 場料は、小学生500円、中学生・高校生
 800円、大人1,500円となっております。
 この機会に、ぜひ文化会館にお越しき
 ださい。チケットの購入や詳細については、
 文化会館にお問い合わせください。
 文化会館 ☎(59)3106



田村一行氏による舞踏ワークショップ(体験教室)開催のご案内

1月27日に開催される舞台公演「はざ
 ま」の演者、田村一行氏による、舞踏のワ
 ークショップ(体験教室)が、1月22日(火)、
 23日(水)の2日間、文化会館にて行われ
 ます。時間は午後7時30分～午後9時頃

の予定で、高校生以上が対象です。料金は
 高校生500円、大人700円ですが、ワーク
 ショップ参加者には、公演チケットの割引
 があります。定員は20名。お申込み、詳細
 については、文化会館まで。

【本を読みましよう！新刊図書のご案内】

山村開発センター図書室			文化会館図書室		
著者名	書名	出版社	著者名	書名	出版社
ジョン・Gロビンソン	クリスマスってなあに？	岩波書店	ジョン・Gロビンソン	テディ・ロビンソンとサンタクロース	岩波書店
リアン・ホーバン	ねずみのオスカーとはるのおくりもの	のら書店	小手鞠 るい	くろくまレストランのひみつ	金の星社
松成 真理子	なないろのプレゼント	教育画劇	酒井 駒子	はんなちゃんがめをさましたら	偕成社
田端 健人	学校を災害が襲うとき-教師たちの3.11-	春秋社	田端 健人	学校を災害が襲うとき-教師たちの3.11-	春秋社
藤原 正彦	卑怯を映す鏡 (管見妄語)	新潮社	藤原 正彦	卑怯を映す鏡 (管見妄語)	新潮社
いわた 慎二郎	博物館の一日 (講談社の創作絵本)	講談社	いわた 慎二郎	博物館の一日 (講談社の創作絵本)	講談社

※新刊図書の一部のご案内です。くわしくは文化会館までお問い合わせください。☎(59)3106

1月の行事

18日(金)第4回ふるさと発見団(星座観察)
 24日(木)むつみ学級第4回学習会&閉講式

※3月10日(日)に、「お茶の里ファミリーマ
 ラソン」「スティックゴルフ大会」を開催しま
 す。詳細は後日、海洋センターから連絡します。

1月の展示

町民ギャラリー

- ▶中川根中学校生徒の作品展
- ▶切り絵展“大井川鐵道沿線の駅舎”
 森下元司さん(下長尾区)

文化会館ロビー

- ▶本川根中学校生徒の作品展
- ▶水難事故防止ポスター入賞作品展
 (16日～2/5)中部電力静岡支店

役場、文化会館にお越しの際は、ぜひ展示会場にお立ち寄りください。

すこやか大学 第3回学習会を行いました

11月15日・20日・27日

“わが町再発見～秋の町内探訪～”をテーマに、11月15日中部、20日南部、27日北部の日程で行い、120名が参加しました。今回は、久保尾区から地名区を回って探訪しました。久保尾区（原山）の「樽脇園」や、天空の茶産地として整備された「ヒロヲ高原」、地名の町農林業センターを見学しました。農村公園へ移動し「地名の歴史あれこれ」

と題し、地元の酒井政一さんからお話しを伺い、郷土への愛着を深める良い機会となりました。

昨年をしめくくる学習会となりましたが、これからも「参加するのが楽しみ！」となる交流学習の場になるよう、努めていきますので、皆様のご参加をお待ちしております。
【写真説明】㊤“川根茶縁喫茶”樽脇園にて、㊦郷土を築かれた先人たちの偉業を語る酒井さん



ふるさと発見団 「ハイキング」を行いました

11月3日

11月3日に、町内の小学生4・5・6年生12人が参加して、第3回ふるさと発見団を行いました。

今回の活動は、梅高区の鈴木正文さん、下長尾区の松本匠さんを講師に招き、寸又峡プロムナードコースのハイキングでした。

道中さまざまな草花の説明を聞き、子どもたちは新たな発見をしました。参加した子どもたちは、紅葉の始まった寸又峡を満喫しました。

第4回目のふるさと発見団は、星座観察を行います。



上長尾八幡神社の鳥居

新年おめでとうございます“25年は巳年”

お宮の鳥居のしめ縄は巳(蛇)として祀っております。蛇は五穀豊穡を願う地域のために害虫を退治する益虫です。25年も川根自動車は地域のために頑張ります！本年もよろしくお願い致します。

川根自動車株式会社

川根本町上長尾869-2 ☎0547 (56) 0150

平成25・26年度の入札参加資格審査申請の受付中です

平成25・26年度一般競争(指名競争)入札参加資格申請の集中受付を次のとおり行います。

▶申請書の受付期間

平成25年1月4日(金)から

3月8日(金)まで

(ただし、この期間に申請できない場合は、別途追加の申請を受け付けます。)

▶入札参加資格の有効期間

2年間(平成25年4月1日から

平成27年3月31日)

▶提出方法

持参または郵送

(郵送の場合は必着)

▶提出部数 1部

▶提出先

〒428-0313 静岡県榛原郡

川根本町上長尾627番地

川根本町役場 総務課・財政室

☎0547(56)2220

▶留意事項

①提出書類はすべてA4サイズに揃え、提出書類の順番で、なる

べく細いコヨリで綴じたうえ提出してください。(ケースファイルでの提出は不要です。)

②委任状は、提出書類の一番後に綴ってください。

③申請書の「商号又は名称」には、必ずフリガナを付してください。

④必要書類のみ提出してください。パンフレット等の参考資料は不要です。

⑤建設工事における提出書類のうち、工事経歴書には業種毎に主だったものを記載し、極力少量となるよう努めてください。また測量等における測量等実績調書、技術者経歴書についても同様です。

⑥申請書類の記載事項に変更が生じた場合は、一般競争(指名競争)参加資格申請書変更届を提出してください。

⑦建設工事、測量等、物品製造等、別々に受付けますので、各申請書が、どの分野に該当するのか

を明確に記載してください。また、変更届についても同様です。

⑧分野ごと、それぞれ申請書一式が必要となります。ひとつの申請書で建設工事、測量等、物品製造等の申請を兼ねることはできません。

⑨建設工事における「総合評定値通知書・経営事項審査結果通知書」の有効期限は1年7ヶ月です。申請書提出後でも、新たに経営事項審査を受けた場合は、その写しを提出してください。

⑩郵送の場合は、「申請書受付・連絡票」を申請書類の先頭に添付し、受付印が必要な方は、返信用のはがき・又は封筒を同封してください。

▶本町ホームページアドレス

(詳細についてご確認ください)

URL <http://www.town.kawanehon.shizuoka.jp/>

【問】総務課・財政室

☎0547(56)2220

川根本町の人口

平成24年12月1日現在

世帯数	3,011 世帯 (-2)	出生	3 人
総人口	8,049 人 (-26)	死亡	20 人
男性	3,928 人 (-11)	転入	18 人
女性	4,121 人 (-15)	転出	27 人

※()内は前月比、右欄は今月中の異動 ※外国人の数を含む

今月の納期

町県民税 第4期分

国民健康保険税 第7期分

後期高齢者医療保険料 第6期分

水道使用料 1月分

納期限は1月31日です。口座振替の人は1月31日に引き落とされます。残高の確認をお願いします。

税務課 ☎(56)2223

謹賀新年

本年もご愛顧頂けますようお願い申し上げます。

平成25年は、1月7日から営業致します。

▶「春の展示会」

2月15(金)~17(日)の3日間を予定しております。

※農機具の購入・修理・改造など、お気軽に御相談下さい。地域のお店だからこそ、丁寧に、解りやすく、迅速に対応いたします!

前田機材

川根本町上長尾795-1
I P 電話 ☎050-3363-2252
☎56-0006 FAX 56-0009

戸籍の窓辺 出生・婚姻・おくやみ

お誕生おめでとう

地区	氏名	性別	保護者
下長尾	勝又 奏介	男	達也
徳山	大森 煌牙	男	稔久
徳山	中澤 智陽	男	太加矢

おくやみ申し上げます

地区	氏名	享年	届出人
高郷	森下 登	78	八千代
下長尾	西澤 勇	86	あさゑ
下長尾	石原 眞清	72	よし子
地名	栞原 清	92	静男
地名	酒井 依一	78	満
地名	松嶋 洋子	80	保
下泉	松下 つや	86	待男
田野口	鈴木よし江	83	伸一
徳山	山本 義則	89	日米代
徳山	澤下 修	62	美千代
徳山	森 尚	80	勝代
徳山	杉山 道章	78	俊之
徳山	奈良間ちか	93	道一
奥泉	岩田 きん	92	伸雄
小長井	瀧浪 敏雄	81	直子
柳三	鳥澤ふみゑ	69	俊夫
崎平	森下 ぎん	93	悦夫

■戸籍欄に掲載を希望されない場合は、届出時に窓口でお伝えください。

■前々月に届け出された出生・婚姻・死亡の届け出の内、本町に住所があり本町の窓口（本庁・総合支所）で受け付けた分のみ掲載しています。

生活健康課 ☎ (56) 2222

family registration

津波対策事業への寄附募集 御協力をお願いします

県交通基盤部

静岡県では、県が実施する津波対策の推進を目的とした寄附の募集を実施中です。寄附金は、静岡県全域において県が行う防潮堤などの建設に活用します。

皆さまからの寄附をぜひお願いします（個人の方は「ふじのくに応援寄附金」をご利用ください）。

▶募集期間 現在募集中です
▶申込方法 静岡県ホームページに掲載、または県庁、県総合庁舎で配布している寄附申出書をFAX、郵送等で提出してください。

【問】

▶法人・団体の方

〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6 県交通基盤部管理局経理監
☎054(221)2222
FAX 054(221)2945

▶個人の方

〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6 県税務課
☎054(221)2337
FAX 054(221)3361

URL <http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-020/tsunami-kifu01.html>

ふるさとのぬくもりを伝える 第14回昔ばなし語り部まつり

話楽座

日時 平成25年1月19日(土)
午後1時開演

場所 文化会館ホール

メンバーの語り

▷芹澤和歌子▷西村かつ子▷奥野恵美子▷中原すま子▷藺田はる

ゲストの語り(朗読)

▷岡尾智津子(話楽座講師)

特別ゲスト(銭太鼓)

▷中川根友銭会▷田代銭太鼓グループ▷本川根友銭会



◀写真は第13回に開催したものです

【問】中川根語り部の会「話楽座」
☎(56)0374

放送大学4月入学生募集 働きながら学べます

放送大学

放送大学はテレビ等の放送やインターネットで授業を行う通信制の大学です。働きながら学んで大学を卒業したい、学びを楽しみたいなど、さまざまな目的で、幅広い世代の方が学んでいます。

ただいま、平成25年4月入学生を募集しています。詳しい資料を無料で送付しますので、お気軽にお問い合わせください。

▶15歳以上の方なら、1科目から学習する選科履修生・科目履修生として入学できます。

▶18歳以上の大学入学資格をお持ちの方なら、学力試験なく、全科履修生として入学でき、4年以上在学して124単位以上を習得し、卒業すると、学士(教養)の学位を取得できます。

出願期限 2月28日まで

【問】〒411-0033 三島市文教町1-3-93 放送大学静岡学習センター ☎055(989)1253

小売りいたします お気軽にどうぞ
町内への配達もいたします

茶新坂本園

川根本町上岸110 ☎0547-59-2155

墓石・燈籠・各種石材加工

藤田石材店

川根本町上長尾861-35 ☎・FAX0547-56-1177
<http://www.citydo.com/sp/0547-56-1177>

進路実現までの道のり

川根高等学校 3年 西村^{にしむら}知恵^{ちえ}

私は3年生の6月、7月にかけての期間で、川根本町役場の採用試験を受けようと決めました。周りの友達よりも決めるのが遅く、焦りもありました。進路希望先を決めるのが遅かった分、試験対策をする期間も少なくなっていました。それでも私は限られた時間で、できる限りのことをしました。役場の試験内容は、1次試験が公務員試験、2次試験が作文と面接でした。公務員試験はとても難しいものでした。学校にあった教材を使って対策をしたり、夏休みには予備校へ通ったりしました。分からない問題は先生方に分かるまで聞きに行き、頑張った勉強をしました。学校では学ばないような問題もありましたが、多くは学

校で学んだ内容が活かせるような問題であり、改めて学校での勉強が大切だということを実感しました。作文はあるテーマについて書くというもので、そのテーマは当日知らされると聞いていたので、いろいろなテーマについて書き、対策をしました。私は作文がとても苦手なので苦労しましたが、自分の考えていることや思っていることを伝えられるような文章を書けるように心掛けました。面接の対策は、川根本町のことや役場のことを詳しく調べたり、毎日、新聞を読んだり、スクラップをしたりしました。面接練習は、先生方と試験の前日まで何回も行いました。できる限りのことしたという気持ちがあったので、当日は落ち着いて

試験に臨むことができました。

10月には無事に川根本町役場から内定を頂きました。来年の4月からは社会人となります。残りは少ない学校生活を元気に楽しく過ごしたいです。思い出もたくさん作りたいです。3年生はあと3ヶ月程で卒業となりますが、それまでに立派な社会人になれるような準備を整えたいと思います。また、卒業までにはまだいくつかのテストが待ち構えています。卒業するまで学業も頑張っていきたいです。社会人になるにあたって社会全体を知るといいうことは大切だと思うので、毎日、新聞を読むことも続けていきたいです。

私は18年間暮らしてきた温かい雰囲気のこと



▲西村知恵さん

の町が大好きです。来年からは役場の職員として、川根本町に住んでいる方々の安心、安全を守っていきたいと思っています。役場の仕事は全てが町民の暮らしに関わっています。その仕事はいくつかの課に分かれており、私自身がどのような課に配属されるかはまだ分かりませんが、どのような仕事も一生懸命やりたいと思います。よりよい町作りに貢献できるように頑張りたいです。

column

眼科患者さん無料送迎いたします。

ご近所から、当院まで送迎車にて無料送迎いたします。
ご予約は電話にてお願いします。
(当院に初めて受診される方もご利用いただけます)

島田眼科クリニック

住所：島田市日之出町3-9
島田駅から徒歩1分
☎0547-37-0431
診療時間：午前9時～12時、午後2時～6時
(休診日：水曜日、日曜日、祝日)



堀池
駿介しゅんすけくん

父：幸介・母：純子
駿介1歳のお誕生日おめでとう！あっという間の一年でしたね。いたずらっ子でとてもよく笑う駿介が皆大好きだよ！これからも沢山食べて沢山笑って沢山泣いて元気に大きくなってね！
父母より

H 23.12.14生
小長井



森下
碧月あつきくん

父：忠明・母：真弓
あっくん1歳のお誕生日おめでとう！ねえねに、おもちゃを取られても、立ち向かっていく姿はさすが“男の子”です^^ ごはんが大～スキなあっくん、これからも地名のお米をたくさん食べて、すくすく育ってネ。

H 23.12.20生
地名



藤森
叶羽とわくん

父：和彦・母：由香
とわ君お誕生日おめでとう♡たくさんの人に愛され、かわいがってもらったね。君のキュートな笑顔、泣き顔にみんなもうメロメロです。いっぱい食べて、いたずらして、ぐっすり眠って、いい男になあれ☆

H 23.12.15生
八中

表紙の「飛翔2013」に込められた思い

新年を迎えるに当たり、ふさわしい文字は何だろう。書道家の大石宏さん(千頭東)と決めて決めました。

そして、「2013年が町民の皆さまにとって飛躍する素晴らしい年になりますように」と、大石さんに願いを込めて書いていただきました。

昨日より今日が、今日より明日が、良き日になると信じて歩きだそう。飛翔2013—。



▲集中して力強く書く大石さん



山下
葵あおいちゃん

父：慎吾・母：扶実子
葵、1歳の誕生日おめでとう☆パチパチ拍手やヨチヨチあんなよ、たくさんのができるようになったね。葵と一緒に毎日がとってもとっても楽しいよ★これからも楽しいことたくさんして、元気に大きくなあれ！

H 23.12.20生
小長井

Birthday

編集後記

after word

「街の活性化は街を愛する人を増やすことから始まる」とは日本街コン協会の佐々木均さんの言葉。
街(地域)を愛するということ——。
生まれ育った町、今住んでいる町、昔住んでいた町。人それぞれ、地域に思い入れがあり、郷土愛があります。小さな町だからこそ、子どもからお年寄りまで、この町を愛する人が多ければ多いほど、その人口割合に対する比率は大きい。その愛が広がり、横のつながりを大切に地域を盛り上げていけば、信頼に根差した支え合いが増え、住民力が高まり地域の愛が深まります。
魅力的な地域とは、そこに暮らす人々が楽しそうに暮らしている地域、つまり地域を愛する人が暮らす町。
この町にあふれる、無数の「地域愛」をこれからもお伝えしていきます。
大村一成

鹿角靈芝エキスドリンク「スーパー宝輪」
健康維持に関わりがあるとされている「β-D-グルカン」たっぷりドリンク！
鹿角靈芝で始めよう！健康生活習慣
～100歳まで元気でキレイに楽しく生きよう～
クレス薬品株式会社
〒510-0837三重県四日市市西松本町10-32
TEL.059-350-2468 FAX.059-352-8785
www.cress-yakuhin.co.jp

沙代のつぶやき



11月4日(日)

エコツーリズムネットワーク事業の「大札山トレッキング」に参加。とても紅葉がきれいでした。春と夏にも登りましたが、季節が変わる度に新しい発見があって、大自然の魅力に感動しました☆



11月17日(土)

夜っぴとい神楽に参加。大井川、安倍川流域から6団体が参加しました。笛や太鼓が少しずつ似ていたり、お面の表情が地域によって特色があることに気がきました。地域の伝統文化を絶やさぬように努力している皆さんの舞を見て、元気をもらいました♪



11月23日(金)

智満寺で開催された川根時間にお菓子の売り子として参加しました。町の特産品やお茶を使ったお菓子の豊富さに、驚いている人もいました。



11月27日(火)

緑のふるさと協力隊ブロック研修会を川根本町で開催。他地域の協力隊員と担当者、派遣元の地球緑化センターが集まりました。お互いの活動状況や近況を報告し、私は川根本町の良さを発信しました。



11/4

大札山でのワンショット



11/17

勇壮な火の舞



11/21

真っすぐな自然薯づくりには苦勞がありました



11/23

川根時間にて

11月はイベントがすごく多かったです。たくさんの行事に参加させてもらって、いろいろな体験を通して、川根本町のことを深く知ることができました。緑のふるさと協力隊は町での活動をベースに、自分自身の勉強と地域の魅力を発信することが役割です。もっともっと川根本町のことを学びたいと思います！

緑のふるさと協力隊・吉田沙代

